

23rd 全国曹洞宗青年会

sousei

191
2020.11

特集①

祈りよ届け、御嶽山

特集②

心に寄り添う僧侶の在り方

- ・令和2年7月豪雨ボランティア報告
- ・連載「『過疎』と向き合う」第5回
- ・映画『典座-TENZO-』DVD頒布開始

特集①

祈りよ届け、御嶽山

おんたけさん

御嶽山慰霊拝登記

古来より山は俗世から隔絶された清浄な場所とされ、信仰の対象とされてきました。また、寺院名に〇〇山という山号が付けられていたり、寺院の門を山門と呼ぶ習慣も、お寺が山と等しく修行するのにふさわしい場であることの象徴だと考えられています。

今回は長野県と岐阜県の間を跨る山、日本百名山の一つであり、江戸時代から多くの信者が拝登に訪れる「霊峰・御嶽山」へ長野県第二宗務所青年会会員と共に赴き、2014年9月27日に発生した火山災害によって犠牲になった方々への慰霊拝登を行いました。

登山開始



御嶽山/標高3,067m、富士山に次ぐ高さを誇る独立峰。頂上剣ヶ峰には御嶽神社奥社が鎮座しており、御祭神は国常立命、大己貴命、少彦名命が祭られている。天地力を分け与え、五穀豊穡、子宝・縁結びを祈願し、長寿を護り、病難を癒すとされています。修験道の場として平安から室町時代まで栄えた。江戸時代に入り1784年に尾張の行者・覚明により黒沢口が開かれ、1794年には武蔵国の行者・普賢によって一般民衆に解放されました。以後、今日まで先祖供養や死後の安寧を願い、多くの人が登拝しています。



8合目 女人堂



7合目 覚明行者の社



山頂駅の花畑

長野県伊那市から車を走らせること2時間弱、御岳ロープウェイに到着しました。ここで一気に7合目まで上がってから登山を開始します。山頂駅に着すると青空と美しい花壇に出迎えられ、これから目指す山頂が遥か遠くに望めました。この時点で標高は2,000メートルを超え、若干の息苦しさの中、一歩ずつゆっくりと歩を進めました。途中に御嶽山の黒沢口を開かれた覚明行者が祀られている社へお参りし、道中の安全をお祈りしました。木々が生い茂る中、1時間ほど登ると、視界が開け8合目女人堂が見えてきます。ここで少し休憩です。明治10年ごろまで8合目より先は女性の登山が許されず、頂上を目指した男性の帰りをここ

で待っていたのが女人堂という名の由来だとされています。

休憩を終え次に目指すは9合目石室山荘です。ここから登山道は険しさを増していきます。女人堂から少し登ると先人達の霊神碑や石像が所狭しと建てられ、昔から多くの信者が訪れていることを実感しました。8合目を過ぎ



多くの石像と霊神碑



石の登山道



廃材と復興

ガスに覆われていく登山道



焼け朽ちた灯籠1



焼け朽ちた灯籠2



ハ丁ダルミ



御嶽神社奥社



平和を願う鐘

石室山荘を出発し目指すは山頂剣ヶ峰です。山荘を出ると一面ガスに覆われており、数メートル先も見えない状況の中登っていきます。10数分歩いてると肌に水滴が着くのを感じました。その後1分もしないうちに水滴は大粒となり、激しい雨が降り始めました。レインコートを着て歩き始めましたが、

元々足場が悪い上滑落の危険もあるので、気を張りながらゆっくりと登っていきます。雨に打たれてしまった為体力の消費が著しく思うように先に進めません。山の天候は変わりやすい事を身をもって体験しました。

雨で濡れた体を乾かしながら山頂でのひと時を過ごしました。

ピークハント

雨の中約40分の行軍を行い、とうとう目的地である剣ヶ峰に到着しました。6年たった今でも山頂周辺にはまだ噴火の爪痕は残っており、噴火の影響で倒壊してしまった建物の廃材や、おそらく火砕流によって焼けてしまったのであろう、黒く朽ちた灯籠などが災害の悲惨さを物語っていました。御嶽神社がある山頂への石段を登る頃にはいつの間にか雨は上がっており、登っている途中後ろを振り返ると未だに立ち入り禁止となっている八丁ダルミが見えます。登り切った先には新しく建て直された御嶽神社がありました。その横に世界人類の平和を願う鐘が設置さ

れてあります。登山中に時折聞こえてきた鐘の音は、平和を願った登山者が打ち鳴らした音だったのでしよう。山頂標識を確認して登頂完了です。雨で濡れた体を乾かしながら山頂でのひと時を過ごしました。



山頂

「御嶽山噴火で亡くなった同級生を偲ぶ」

長野県第二宗務所青年会会長

明音寺住職 上野徳俊

6年前の9月27日、御嶽山が突如噴火し死者58名、行方不明者5人を出す戦後最悪の火山災害が発生しました。犠牲者の多くは時速300キロで飛んできた噴石による損傷死という衝撃的なものでありました。自衛隊による懸命な捜索が続けられ、次々と犠牲者の名前が伝えられるその中に、高校時代の友人の名前がありました。彼は穏やかで笑顔を絶やさな人でした。自然を愛した彼は長野で就職し、休日の登山を趣味としていました。しかし、6年前のあの日、38歳の生涯を閉じたのです。



葬儀会場に飾られた彼の笑顔の登山写真を見て誰もが涙しました。大らかで純粋な彼の人柄を雄大な大自然の風景に重ね合わせたからです。あれから6年、七回忌に当たり私にとって念願の慰霊登山となりました。3000メートル級の登山は過酷なものでありましたが、頂上にある慰霊碑前で供養を行った時、再び彼に逢えた気がいたしました。彼の眺めていた景色は美しくとても壮大なものでした。

慰霊の思い

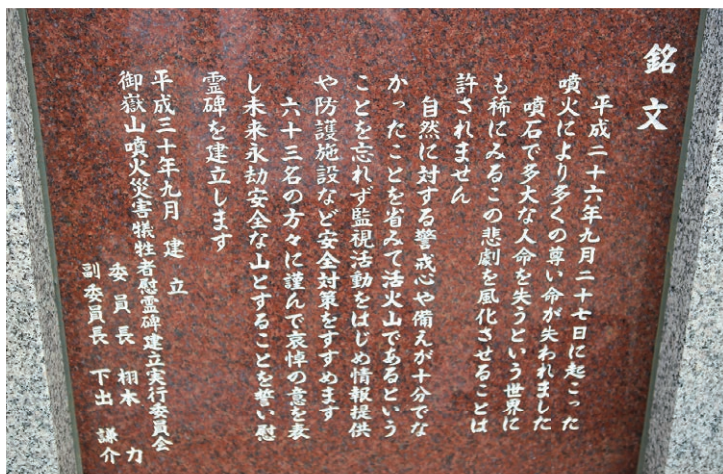
山頂での休憩を終えた後、今回の目的である慰霊法要を行うべく、山頂に別れを告げ慰霊碑の前へと向かいました。碑には「安らかに」と刻まれており、銘文には当時の状況が書かれています。犠牲となった方々への慰霊の祈りと、風化させてはいけない、という強い意志を感じました。

短い時間ではありましたが、各々の慰霊の祈りを込めた法要を行いました。また同行して下さいました長野県第二宗務所青年会会長・上野徳俊師に、今回の慰霊拝登での胸の内を少し語っていただきました。

法要を終えると雲の切れ間から青空が見え、犠牲となった方々が「来てくれてありがとう」と言っているような感じがして、御嶽山の頂上から此岸の世界を見守ってくれている気がしました。



慰霊法要中の様子



下山

被災者の方の慰霊が出来たことを信じ、残るは自分自身がケガをせずに無事下山することです。先ほどの晴れ間のおかげで地面は乾き、滑落の危険性は大幅に減りました。自分が歩いてきた道を見下ろし、遥か遠くにそびえる山々を観ながら下山していきます。途中すれ違う人がいれば挨拶をしてお互いの安全を祈りながら見送りもしました。全員が無事に下山して、今回の慰霊登を終えることが出来ました。



文／広報委員 石原顕成

撮影協力／長野県第二宗務所青年会

明音寺 みよのおんじ 上野徳俊師 うえののくしゅん

光久寺 こうきゅうじ 小林秀範師 こばやししゅうはん

薬師庵 やくしあん 千田雄心師 せんだゆうしん



すれ違い際に挨拶を交わし互いの無事を祈る

寄稿文

山に登るといふこと

長野県伊那市 常圓寺住職 じょうえんじ 角田泰隆老師 つのだたいりゅう

三年前、還暦を迎えた私は、かつて永平寺での修行時代に白山拝登をした時の感動を蘇らせ、一念発起して白山に登り、一昨年は立山、そして昨年は富士山と御嶽山に登った。そして今年、御嶽山の噴火で亡くなった檀家の方の七回忌にあたり、山頂で法要を行うべく再び御嶽山に登った。

どこの山に登っても、と言っていいくらい、そこには山道があり道標があり、ほこらがあり小屋があり、休息場があり、山頂には標高を刻んだ石柱が立っている。いったい、古来どれほどの人々がこの道を歩いたのだろう。長く続く石畳や、丸太が置かれた延々と続く段々を歩くとき、どれほどの苦勞の賜かと畏敬の念を抱く。

そして、その先駆者は我が国においてはたいがい修験道であり僧侶であり、彼らは修行の道場として、山に入り、山を開いたのである。そして多くの山や峰には仏教に因んだ名が付けられている。

そもそも人はなぜ山に登るのか。「そこに、山があるからだ」とは、イギリスの登山家、ジョージ・マロリーの名言である。この山とはエベレストであり、マロリーはまだ誰も登ることがないエベレストに、イギリスの国威発揚をかけた遠征隊の一人として参加し登頂に挑んでいる。しかし第3次遠征において帰らぬ人となった。

人はなぜ山に登るのか、それはやはり頂上に立ってみたいからだと思ふ。あの山の頂上に登ってみたい。そこにはどのような景色があるのだろうか。

ところで、山頂に登り得た人を、仏教では「仏」に例える。その「仏」が自ら体験した頂の素晴らしさを、一切の人々にも見てほしいと「仏」が私たちを呼び招く。だから私たちは山に登る。しかし山頂への道は遠く険しく登山は容易ではない。

そして、山に登る多くの人々の最後尾に、誰一人落伍させまいと、皆を助け励ましている人がいる。誰だろう、これがまさに「菩薩」である。「菩薩」とは大乗仏教の修行者である。だから人ごとではない、我々僧侶こそ「菩薩」である。

我々はなぜ山に登るのか。「菩薩だからだ」と答えたものである。



特集① 祈りよ届け、御嶽山

まとめ

2014年9月27日、いつも通りの日常の中ある報道が流れました。それは御嶽山噴火の報道であり、もくもくと舞い上がる噴煙の映像が映されていました。噴火警戒レベルⅠの段階で突然発生した噴火により、火口付近に居合わせた58名が犠牲となり、6年たった今でも5名の方が行方不明という戦後最大の火山災害となりました。休日に登山を楽しみに来たところに起きた突然の噴火、私では想像のできないような恐怖がその瞬間にはあったと思います。

この度、山の特集を組ませていただけることになり、どの山に登るか考えたところ真つ先に思い浮かんだのが御嶽山でした。2019年には今回登った御岳ロープウェイから登る黒沢口が解禁され、翌2020年に王滝村から登る王滝口が解禁されました。しかし、両山頂を繋ぐ八丁ダルミは未だに立ち入り禁止の状況です。現在も山頂には数多くの物資が運ばれ、壊れた建物の再建や今度いつ噴火が起きても登山者を守るように、数多くのシエルトアが建設されています。これらの現状を世に伝えたいと思ったからです。

災害はどこにでも潜んでいます。それはいつも突発的に起こり、我々の命をあっ

さり奪っていきます。近年は10数年前と比べると格段に自然災害の件数が増えてきています。明日は我が身の上という諺があるように、いつ自分が災害に巻き込まれるかわかりません。今後も起こるであろう様々な災害に対して真摯に向き合っていき、先人の方々がその身をもって教えてくれた教訓を生かしていければと思います。その上で我々青年僧侶としても全国の加盟曹青会の気持ちをひとつにして、互いに支え合っていければと考えています。

また、先人たちが築き上げてきた後世の人々が安全に登れるように示した教えや、頂を目指して互いに支え合い助け合うことを今回の登山を通して感じました。この様な他者を労わり、慈しむ心こそが仏心であるのではないかと思います。

結びに、今回の特集に快く協力して下さいました角田泰隆老師及び上野徳俊師、小林秀範師、千田雄心師をはじめとした長野県第二宗務所青年会の方々にこの場をお借りして心より感謝を申し上げますとともに、御嶽山噴火災害の犠牲となった方々のご冥福をお祈りさせていただきます。

特集担当／広報委員 石原顕成

広報委員 高柳龍哉



山頂での集合写真 右から千田雄心師、上野徳俊師、石原広報委員、小林秀範師



特集②
第一回

心に寄り添う僧侶の在り方

吉村 昇洋師 プロフィール

曹洞宗八屋山普門寺副住職。公認心理師／臨床心理士。相愛大学 非常勤講師。

1977年3月、広島県生まれ。仏教学修士を取得後、永平寺に安居。乞暇後、臨床心理学を学び、現在は心理臨床家として広島県内の精神病院に勤務。その傍ら、著書『氣にしない生き方』をへい入に、

全国各地で、禅の智慧を交えた心身の健康に関する講演も行う。メディアでは、NHK総合「助けて！さわめびと」の〈不眠症対策〉の回に講師として抜擢され、大きな反響を呼んだ。近著に『精進料理考』（春秋社）。

新型コロナウイルスの影響から、日本国内でも混乱の日々が続いています。新しい生活様式が提言される今、私達僧侶はどのように悩める人の心に寄り添うことが出来るのでしょうか。

心理臨床の国家資格である公認心理師として、単科精神病院にも勤務する吉村昇洋師にお話を伺いました。

全2回の連載特集、第1回となる今号では、緊急事態宣言時の心理臨床の最前線の様子や、吉村師の取り組みについて伺います。



―緊急事態宣言も発令され、それとも世間ではコロナ鬱という言葉も連日報道されていました。心理臨床の最前線に立つ吉村さんは、どうお考えですか？

吉村師 先ずコロナウイルスのこの混乱は、こんなにも生活の難しさに直結するんだということを、強く実感しました。

就職や入学等、自分の意思で環境に変化を与えることはよくあります。しかし今回のように世界全体に及ぶ急激な社会変化にさらされるようなことは、そう頻繁に起きることではありません。そういった場合には当然、状況の変化に追いつくのが難しくなる。マスクを着けることが当たり前となる生活、人との距離や仕事の形態にも様々な変化がありました。そういった変化に対する影響は、多く生まれていったと思います。

また連日の注意喚起も、必要なことではありますが、人によっては却って不安を募らせる結果になっていたとも感じます。

人にとって不安というのは、嫌悪の対象となる感情です。そのため人は、

不安な状況から抜け出し安心を得ようとする。しかし今回の新型コロナウイルスについては、何を以て安心なのかも定かではない。情報が入ってくるほどに、誰も何も分からない状況であることが浮き彫りとなりました。つまり、一般的に情報は、安心を得るために必要なものですが、逆にそれが増えるほどに不安が募る悪循環が生じたのです。

―臨床の現場においても、不安な状況はありましたか？

吉村師 支援をする側にとっても、対応の正解が無い以上、普段よりも不安は募っていました。正解の無い中で最適解を求める必要がありますから、常に暗中模索の状態でした。

また特に、コロナウイルスに直接対応する感染症指定医療機関は大変だったと思います。最善の対応を行う必要がある以上、初期の頃は例えば、PCR検査を行った医療スタッフは一日を自家用車の車中で過ごし、その日から家族や同僚との接触を極力減らす等、徹底した対応が取られていました。検査を担当した方が陰性だったとしても、検査結果が出るのは数日後の事です。

心に寄り添う僧侶の在り方

検査の段階でそれは分からないですから、相応の配慮が必要でした。

医療現場に限らず言えることですが、少しのことであっても、普段のルーティンが崩れることがこんなにもストレスなのだなと身に沁みました。知らない間に染みついた当たり前が崩れることで、こんなにも心が脆弱になっていく。医療現場にいると、その恐ろしさはひとしおでした。そして同時に、平時の有り難さも実感するわけです。

—医療に従事する方のケアでは、どういった取り組みをされましたか？

吉村師 正直に言うと、個別のケアまでは手が回っていませんでした。自力でなんとかするしかない状況にあったことは今後の課題だと考えています。

しかし、こういった日々における日常の過ごし方や、自己の在りようについて話す機会はいただきました。コロナウイルスに関するアクションでは、どうしても視点を外に向ける必要があります。だからこそ、その外に向いた視点だけでなく、今の自己の在りようを見逃さないことが重要であると思います。そういったお話をさせていた

いています。

慌てふためくだけの自己であったら、知り得た情報を正しく処理することはできない。それは当たり前のことです。だからこそ、自己を見つめ、情報を正しく使いこなすことができる在りようであることが重要です。こちらが落ち着いていないと、情報に振り回されるだけになってしまいますよね。

禅の修行では常に、心静かに「今」この瞬間の自己や世界を偏りなく見つめる。坐禅の在り方が問われます。それを具体的に実現するのが、清規に則した生活ということ、禅戒一如の思想に通じます。ですので、曹洞宗の関係者であれば、そこに足下を置くことが、安心に繋がることでしょう。ですが、そうでない一般の方々の場合はそうはいきません。とはいえ、禅に限らず宗教には、冷静に自己を見つめる実践が多分にあるわけですから、そこに学ぶことは有効だと考えます。

—古くから宗教には、混乱時に救いとなってきた歴史があります。では宗教から距離を置く人が多いと言われる現代ではどうなのでしょう。吉村師はどう感じましたか？



吉村師 初期の頃に、コロナを退散させる目標とした石ころが売り切れてしまった状況を見ました。理性的に考えて、あり得ませんよね。となるとこれは、ある種の宗教性が働いた事例と言えるでしょう。人は不安が募ると、

—感情に振り回されるとは、どういったことでしょうか。

理性的に考えてあり得ないことであっても、それにすがりたくなります。理性よりも感情が優先されるということが起きやすいですね。そういった状況が鑑みるとやはり、多くの人が感情に振り回されやすくなっていったのだ

吉村師 言わば、自分の頭の中で作り上げた不安な物語にとらわれ、その下僕になった状態です。こうなると、現実を正しく認識できません。コロナに感染したくない感情が不安を増幅させ、ただの石ころを超常の石にしてしまうわけですから。

うと思います。

また、心理学の知見では、慢性的な不安は攻撃性を高めると言われています。その攻撃性が内に向けば、自分の

心身を苦しめ、外に向けば他者への暴力となる。こうした攻撃性を緩和するには、どこかでガス抜きが必要となります。ですが、このコロナ禍では、通常と異なる状況ですので、これまでのやり方ができない、もしくは通用しない。そこで、ガス抜きができる形に諸々を再構築する必要があります。仏教でもよく言う「自己を見つめ直す」ことが注目されています。しかし私たち凡夫は我が強いですから、なかなか自分を変えられません。まあ理想は、器によって形を変えられる水のごとき柔軟な在り方なのでしょうね。

その点、私たちは禅僧ですから、自己は本来自由であると知っています。私の場合、日頃からその考え方に救われていまして、さらに経律論の仏典や修行の実践経験など、ある種の型もあるのですが、一人で考えなくて済むのは助かります。そういった過去の蓄積に照らし合わせながら日々に向き合うことで、自己の自由を保ちやすいなど実感します。今よりも平和の少ない時代に記された自己の在りよう、その背景を認識するだけでも、今の状況においてとても参考になりますね。有り難

いでは、
 ーなるほど、大変な状況にいるからこそ、自己を見つめる必要があったのですね。
吉村師 戦乱の時代は、常時緊急事態宣言のようなものです。生と死がもつと身近にありました。いつ自らの命が消えるかという世界。だからこそ培われたものがありますね。
 では今は平和な時代だから自己を理解する必要もなくなったかというところ、もちろんそんなことはありません。今回のコロナウイルスのこともそうです。現代には他にも自死の問題もあります。平和だからといって、生きづらさが無くなっているわけではないですよ。

ー心理臨床と仏教というそれぞれの視点から人に向き合うわけですが、僧侶として人に寄り添うことと心理臨床家としての対応と、そこに差は生まれたりするのでしょうか

吉村師 私の場合は、僧侶としての対応と心理臨床家としての対応に差異はありません。パソコンで言うならば、禅は私のOSで、臨床心理学はアプリケーションのようなものだと考えています。つまり、禅を前提としたものもの捉え方の上に、対人理解の手段として臨床心理学を用いているという感じですね。

もともと大乘仏教は、利他を重視しますから、その点でもあまり矛盾は起きませんし、学問的なエビデンス（科学的根拠）を蓄積してきている臨床心理学の叡知は、心の救済を考えたときに非常に具体的に分かりやすいと感じます。

また禅と臨床心理学の差を考える上で、マインドフルネスが分かりやすい例だと思えます。マインドフルネスは、仏教の禅定（坐禅）から宗教性を取り除いて、心を安定させる目的で生み出

003年頃は、うっつゝなんて言葉は社会に知られていませんでした。でも今は社会がきちんと対応する事で徐々に認知され、自死を選ぶ方の数も少しづつですが減ってきています。やはり現代においても、心や自己というものを理解することは必要だと思えます。

また禅と臨床心理学の差を考える上で、マインドフルネスが分かりやすい例だと思えます。マインドフルネスは、仏教の禅定（坐禅）から宗教性を取り除いて、心を安定させる目的で生み出



心に寄り添う僧侶の在り方

された瞑想法です。ここで個人の信仰心を必要とする宗教性が取り除かれたのは、そうでなければ客観性を求める科学になり得ないからです。ここだけを見ると、禅と臨床心理学には根底から差があるように見えますね。

ですが、これに関してちょっと面白いことがあります。マインドフルネスのムーブメントの中心人物の一人である、医師のジョン・カバットジン博士が来日した時、受けに行ったワークショップの中で、彼の口から「ブッダは〇〇と言った」「道元は〇〇と言った」と、理論を説明する際に何度も発せられていたのです。

これには驚きました。宗教性を排除して展開する立場の人の口から、宗教者の言葉が引用される。不思議な感じではありましたが、心理療法のプログラムの中で信仰心を求めているわけではありませんし、どちらかという坐禅の構造やプロセス、要素を科学的に検証し、誰にでも適用可能な心理療法として役立てようという意図が感じられました。

そして言葉の端々から、仏教や禅に対するリスペクトがあったのも印象的

です。日本人のように宗教アレルギーの弊害から、宗教の持つ伝統や歴史といった限られた側面だけを見るのではなく、思想そのものへの関心も高いのは興味深いですね。まあ、日本人も、科学的なモノ信仰は厚いわけですが・・・。

ところで、禅の考え方は「今この瞬間」という現実ベースに展開されていきま

す。マインドフルネスもそういった側面を持つものですから、宗教色が排除されたものであったとしても、現代の人に「今この瞬間」を伝えるツールとしてとても優れたものだと思います。現実を正しく見つめるとは、八正道という正見ですね。その上でそれらをしっかり感じよう。禅の考え方はそういう前提から展開されていきます。では現代の人にこれを伝えようとした時に、科学の側面から話し始める方が、より理解出来る方もいます。

―なるほど、では逆に禅と臨床心理の共通点はなんでしょうか。

吉村師 禅の根底には「利他」があります。禅って何かと考えた時、突き詰

めた末には利他がある。それは沢山の祖師方も言われています。

正直に言う、「自己を見つめる」以上は、結局のところ坐禅は自利なんじゃないかと、ずっと思いながら坐っていました。ですが、祖師方に学び、坐り続けることで、利他のために坐禅をするわけではないが、行き着くところは利他なのかと、最近何となく感じられるようになりました。

そして、その利他性こそ、禅と臨床心理学の間に高い親和性が保たれる点です。そもそも臨床心理学は、他者に寄り添い、相手を利するために生まれた実証的な学問です。僧侶として利他を実践する際、こうした有効な手段を用いても問題はありません。仏教の範囲内では救われてはならないなどという法はないからです。

重要なのは、禅であろうと臨床心理学であろうと、利他の精神を失わないでいられるかどうかです。この根底が共通しているからこそ、私の中で矛盾は起きないのです。

―差は生まず、そして現代の人にとっても理解しやすい手段。それらを突き詰めた結果、臨床心理学を手段の一つに選ばれたわけですね。

特集第二回となる次号では、具体的な技法や態度についてお伝えいたします！ 次号をご期待下さい。

取材／広報副委員長 菅 悠生
撮影／広報委員 米澤 高志



令和2年7月豪雨被害状況・活動報告



この度の令和2年7月豪雨災害に際しまして、皆様から心温まる励ましの言葉、また各県宗務所様、青年会様からのお見舞い金、義援金、支援物資等々を送っていただき、心より御礼申し上げます。人吉市、球磨村、芦北町、八代市坂本町が甚大な被害を受け、熊本県第一宗務所管内では、球磨川沿いにある寺院が本堂、庫裡1階が全て浸かり、数カ寺土砂崩れの被害が出ております。人吉市は発災当初から自衛隊などによる復旧作業が始まり、熊本県第一宗務所、熊本県曹洞宗青年会の会員も活動を進めてまいりました。球磨村においては、道路が寸断され約1ヶ月人が入ることもできず、住人のほとんどはヘリにて救助されました。7月末からようやく自衛隊、地元消防団、ボランティア団体による活動が始まり、青年会の活動も範囲を広げ、現在球磨村神瀬地区で週1回程度活動しています。

神瀬地区では約150〜170世帯ある中で、ようやく10世帯ほど戻って来られ、ポツポツと灯りがともり始めました。電気は早い段階で通じましたが、水道は断水が続いていました。1ヶ月経った頃ようやく



球磨村渡地区

復旧しましたが、まだまだ不安定な状態が続いており、今もまだ手付かずの家がたくさんあります。帰宅できなかつた方も、ボランティアの支援活動のお話を聞いて、帰って自宅の整理をしようというお宅が増えてきており、大変うれしく思います。活動を通して家財出し等をする中で、ゴミではなく思い出なんだと、その思い出を分別し仮置き場を持つていく、私たちはその重要な役目を担っているのだと感じました。泣きながら子供たちの写真を整理されている姿を見ると本当に心が痛みます。それでも住人の方々は自宅の整理、洗浄など毎日活動されています。

特に今年は新型コロナウイルスの影響により、ボランティアの受け入れが県内に限られ、人手不足で中々作業が進まない状況

であります。それでも週末になると、県内からバスでボランティアの方々活動に参加され、また神瀬地区にある福祉センターには、送られてきたおもちゃで子供たちが遊ぶ姿があり、活気に満ち溢れています。毎週土曜日に集会所で地区の方々が集まり、住人の意見交換の会が、神照寺住職岩崎哲秀しやうしゅう師を中心で開催されています。復興へ長い道のりとなります。神瀬地区がこの先どうなるかわからない状況の中、住人の方々はなんとか前を向いて、一生懸命頑張っておられます。私たちに出来ることは限られてはいますが、一刻も早い復興が実現できるように、お手伝いを継続して行なっていきたいと思えます。

文／庶務 仲野大悟

(熊本県曹洞宗青年会所属)

新型コロナウイルスの感染が懸念される状況における災害支援

新型コロナウイルスは今年の春から人々の生活に多大なる影響を及ぼしております。その影響は日々の生活だけではなく災害時にも波及しております。感染が拡大し始めた当初より、「今大規模な災害が起きたらどうするのか？」災害復興支援部内でも課題になっておりました。

令和2年7月豪雨災害では多くの地域で被害が出てしまいました。基本的に災害時には現地の青年会と情報共有を行い、支援部員を現地に派遣して視察と活動を行っておりますが、今回は全国で新型コロナウイルス感染が懸念されていた為、県外からの派遣はせずに熊本県曹洞宗青年会から全曹青へ参加している仲野大悟師に現地との連絡を担当していただいております。

今回の災害対応の判断基準としては、今年度より全曹青が加盟させていただいたJVOAD（特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）で作成されたガイドラインを参照いたしました。中でもわかりやすいポイントとしては

- ①被災地域にウイルスを持ち込む恐れ
- ②被災地域からウイルスを持ち帰る恐れ
- ③被災者やボランティア同士の接触により感染を広める恐れ

になります。

多くの災害支援を専門としている団体はこのガイドラインを参照されて現地への派

遣を行っているとのことでした。私が個人的につながりのある支援団体とも連絡のやり取りを行ってまいりました所、中には感染など気にせずに県外から来てしまう団体もあったようです。こういった団体へは注意喚起がありました。この様な状況が起きると支援団体の間での摩擦が起きてしまい円滑に復興支援を行うのが難しくなってまいります。ウイルスの影響は団体の間だけでなく、被災地域の方々とボランティアの間でも起きています。原則は県内のみでのボランティア募集になっておりますが、それでもお互いの不安が猜疑心のようになってしまい、支援活動が困難な状況もあるようです。

昨年、私の住む長野県でも台風被害がありました。その際には他県から多くの方々が助けに来ていただきました。あの時、もし県内の人だけの活動だったらと思うと頭を抱えてしまいそうになります。しかし、その深刻な状況が現在も各地域で起こっております。少しでも何かできないものか、中間後方支援として何ができるのかと考えておりますが、現地へ行きたい気持ちが一番大きいです。

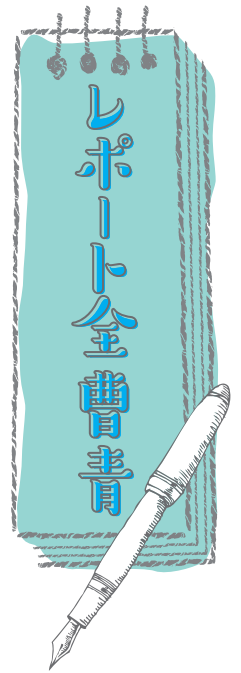
文／災害復興支援部事務局長 原田恵一



青森市・観音院様



球磨村神瀬地区・多目的集会所



YouTube 精進料理動画の制作

新型コロナウイルスの影響を受けて、全曹青でも継続開催しております精進料理教室「味来食堂」の開催も難しくなっております。そこで、全曹青では今回、オンラインでの精進料理動画配信を企画いたしました。精進料理事業に以前より取り組まれているいずも曹洞宗青年会と協働し、YouTubeを使った精進料理動画を制作しました。

おうちで過ごす時間が増える中、「禅」に興味を持っていただけるよう、気軽にご家庭に取り入れられる精進料理の基本を紹介しました。さらには言葉による説明などは入れずに高感度マイクを使用して調理の音を拾い、食材のいのちを目でも耳でも、まさに五感で感じ取れるようにしました。調理と撮影には西古孝志師をはじめ、いずも曹青会員の皆様に協力をいただきました。

新型コロナウイルス感染防止のため、現在は集まりにくい状況が続いています。その中でもできることを、と考え、近隣寺院で撮影いたしました。多くの方からご好評いただき、インターネットを通じて禅の教えを世界に発信できることを感じさせる企画となりました。

文／教化委員長 森井 宗淳



青年僧侶の映画レビュー

この映画のあらすじは、音楽が大好きなギター少年の主人公ミゲルが、ある原因で音楽嫌いの一族から大反対されながらもミュージシャンを夢見る。そんなある日、憧れの伝説的ミュージシャンをきっかけに楽しく美しい「死者の国」に迷い込み、ご先祖さまと再会し、本当に大切なことに気づくというお話です。

毎年、春・秋彼岸にお盆とご先祖さまが戻ってくるとされている行事があります。しかし何度も行事をむかえても実際に会えたことはありません。

でもそれはあくまでも生前のような姿では会えていないという意味です。ありがたいことに今は、仏教という違った姿で毎日出会うことができます。たとえ生前の姿が見られなくなっても、こうして永遠に心の中で生きています。それは仏教に限ったことではなく、故人が大切にしてきた文化や伝統を継承していくことにもいえると思います。その為に、これからも灯を絶やさないように精進するのはもちろんのこと、今から次の世代に最高のバトンを繋げる環境をつくっていかうと思っております。

経験や歳をかさねて変わっていく自身の心境の変化を楽しみながら、今日もありがたい気持ちで手を合わせています。

担当／広報委員 松崎 清文



映画『リメンバー・ミー』2017年／アメリカ

表紙の話

御嶽山を開かれた覚明行者が入定された地である二ノ池で撮影しました。先人たちが残してくれた教えへの感謝の心をテーマとしました。

撮影地：御嶽山 二ノ池

国際委員会からのごあいさつ

全曹青 Real Voice



委員長 村上徹信

曹洞宗福島県青年会より参加し、国際委員長を拝命しております、村上徹信と申します。国際担当をして、8年目となりました。新しい委員会ではございますが、世界仏教徒青年連盟(WFBY)会長や役員を輩出している団体ですので、海外での活動はもとより国内でできる国際活動をより、活発化したいと考えております。コロナ禍で活動は制限されてしまいますが、それでもできることを見つけ、今を創り、明日を見据えながら活動をしていく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。



委員 本田秀之

大阪曹洞宗青年会より参加しています本田秀之です。

今まで外国の方と会話する機会など殆ど無く、身振り手振りでなんとか日本の仏教を伝えていく中で、教える事でより深く仏教を理解出来ているように感じています。コロナ以降は国をまたぐ移動が制限された為、沢山の交流事業が延期となってしまいましたが、インターネットを通してお家にいながら出来る国際交流に努めていきたいです。



委員 菊池英覚

曹洞宗静岡県第一宗務所青年会より参加しております、菊池英覚と申します。今、世の中は一つの転換点を迎えています。新型コロナウイルスの影響で私たちを取り巻く生活環境や人との関わり方はそれまでと大きく乖離してしまいました。そのような不安定な今だからこそできる、「繋がり」を模索していきたいです。



副委員長 大橋康道

東三河曹洞宗青年会より参加しています大橋康道です。今年はコロナの影響で、あらゆる行事が延期もしくは中止になりましたが、その一方で、英会話本の作成や全曹青の様々な取り組みの英訳作業に、より専念できたようにも思えます。

今期はあらゆる面で、国際布教活動とは一体何なのかを改めて見つめ直す時間になっております。あと半年切ってしまいましたが、精一杯精進していきますので、何卒よろしくお願いいたします。



委員 神野太賢

愛知県第一曹洞宗青年会より参加しています、神野太賢と申します。以前、災害救援活動の支援でフィリピンに行きました。キリスト教徒の多い国で、日本から僧侶が来たことに現地の人は驚いていましたが、村長さんは「災害はあったが、おかげで多くの人と出会うことが出来た」と話し、私たちは手を取り合ってダンスしました。

いつの日か「コロナのおかげで」と言える日が来るでしょうか。それはわかりませんが、また誰かと手を取り合い踊れる日が来ればいいなと思うこの頃です。

「過疎」と向き合う

各仏教宗派の「いま」

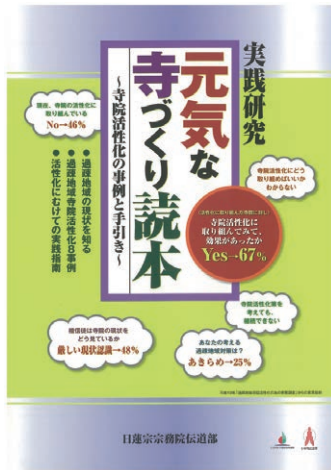
寺院を取り巻く過疎問題の影響

は当然ながら曹洞宗に限ったことではありません。曹洞宗と同じように、多くの被包括法人を抱え、全国に教線を広げる教団にとつては同じくして対応に迫られる問題と言ってもよいでしょう。もちろん、本山や宗務行政本部の所在地、被包括法人の分布状況によって多少の違いはあると思われませんが、対応すべき諸問題はある程度共通していると思像できます。

そうした現状を鑑みれば、各仏教宗派が取り組んでいる過疎問題対策からは多くの学びを得られるように思います。今号ではそうした観点より、日蓮宗・浄土真宗本願寺派・臨済宗妙心寺派の取り組みに焦点を当てて紹介させていただきます。

【日蓮宗】

日蓮宗では平成18年に「過疎地域寺院活性化検討委員会」が立ち上げられ、過疎地域寺院が抱える諸問題に関して議論が進められてきました。対応策のひとつとして、過疎地域で尽力されている寺院の活動を、「地域の中で、キラ



りと光る活性化寺院」と題し、『宗報』

などで紹介。その後、そうした寺院の事例紹介だけでなく、過疎問題を包括的に把握する項目や寺院での取り組みに役立つ実践指南を合わせて掲載した『元気な寺づくり読本』なども発刊（日蓮宗内にて頒布）されました。昨年よりは委員会を「過疎地域寺院活性化検討委員会」から「過疎地域寺院対策委員会」と名称変更し、より具体的且つ実務的な対策が検討されています。

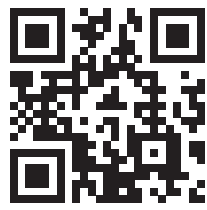
また前号で紹介いたしました「国内開教制度」や、平成25年には「過疎化に悩むお寺を元気にせよ！」をテーマにしたアイデア募集など、住職や寺院が活発に活動できる支援制度が多く展開されています。公式ホームページにおいても、日蓮宗寺院や関係団体の行事、イベントなどの情報発信がなされており、広く一般の方々との結びつきが深められています。

【浄土真宗本願寺派】

浄土真宗本願寺派では、「寺院振興支援対策（過疎対策）推進計画」を示し、関係大学との連携や相談窓口の開設、資金面を考慮した宗教施設建立モデルの情報提供など、さまざまな取り組みがなされています。

中でも「離郷門信徒のつどい（ふるさととの会）」は、10年以上の実績があり、平成31年から「東京供養・芝罘」を始めた曹洞宗としても学び多き取り組みのひとつと言えます。公式ホームページ内では参加者のアンケート報告や分析結果などの閲覧も可能となっております。宗派は違えども故郷を離れた方々の想いを知ることができます。

また開催場所に関しては首都圏に限らず広島県や愛知県なども選定されています。首都圏への人口流入は他の都市圏とは一線を画してはいますが、各地方都市への人口流入も見逃してはなりません。曹洞宗としても檀信徒の居住地を考慮しながらの対策が必要となるでしょう。



日蓮宗
公式ホームページ
<https://www.nichiren.or.jp/>



浄土真宗本願寺派
「宗門の過疎対策について」
<https://www.hongwanji.or.jp/news/cat2/000460.html>

【臨済宗妙心寺派】

臨済宗妙心寺派では、定年退職後の第二の人生を僧侶として生きたいと願う方を募り、出家を支援する「第二の人生プロジェクト」を実施しています。この取り組みは新たな寺院後継者の育成として各種メディアでも大きく取り上げられ、公式ホームページ内には専用ページが設けられプロジェクトの詳細が丁寧に示されています。

現在でも様々な社会経験を経て出家され、その社会経験をもとに僧侶として活躍されている方は多くいらっしゃいます。さらにそうした方が後継者のいない寺院に新たに入寺されることも少なくありません。しかし、寺院の世襲継承が一般的となっていない今、寺院関係者が縁故にない限り、出家のハードルは決して低くはありません。まして地縁のない寺院に入寺するとなれば、さまざまな不安が生じることも予測されます。それら諸問題を宗門が支援する本プロジェクトは、出家を志す人だけでなく、新たに住職を迎え入れる檀家にとっても心強い取り組みと言えるでしょう。



臨済宗妙心寺派
「第二の人生プロジェクト」
<https://www.myoshinji.or.jp/shumonkassei>

まとめ

この度ご紹介したものはごくごく一部であり、その他の宗派でも様々な過疎問題対策が実施されています。また直接的ではなくても、各事業から生じる結果が過疎問題対策としての要項を内包し、間接的な一助と成り得ている場合もあるでしょう。それは過疎問題の多様性からも明らかであり、換言すれば、「過疎」に限定することなく、多種多様な取り組みから可能性を探ることの重要性を示唆しています。

現在、過疎問題に関しては宗派を超えた話し合いの場や現地調査も実施されています。宗派が異なれば、大切にしていく価値観やものの見方も異なり、さまざまな視座から俯瞰的に過疎問題を見ていくことも可能となるでしょう。国難とも称される問題であるからこそ、あらゆる垣根を超えた連携や情報共有が必要であると言えます。

文／過疎問題担当庶務

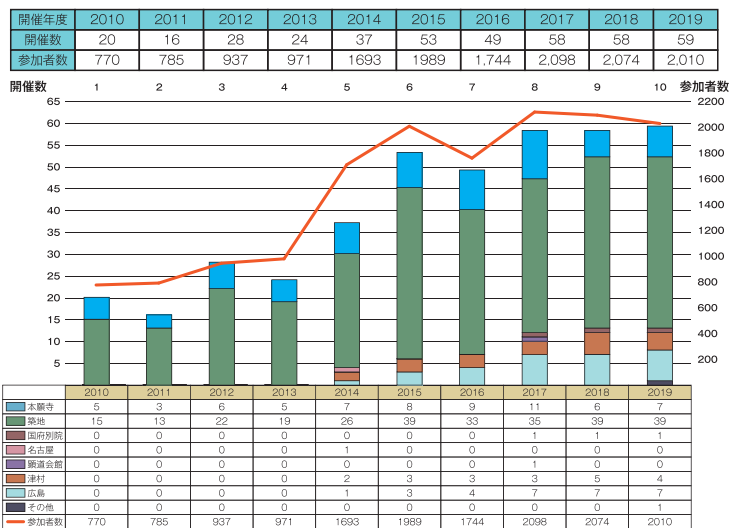
堀江紀宏
中野孝海

「消滅可能性寺院」の宗派別割合

	消滅可能性都市に存在する宗数法人数	全宗数法人数	「消滅可能性寺院」の割合%
宗数法人数	62971	176670	35.6
天台宗	1062	2970	35.8
高野山真言宗	1613	3546	45.5
真言宗智山派	1053	2704	38.9
真言宗豊山派	577	2366	24.4
浄土宗	1718	6829	25.2
浄土真宗本願寺派	3273	10231	32.0
真宗大谷派	2464	8641	28.5
時宗	101	393	25.7
臨済宗妙心寺派	1139	3282	34.7
曹洞宗	5922	14062	42.1
黄檗宗	98	433	22.6
日蓮宗	1681	4903	34.3
日蓮正宗	186	580	32.1
仏教 その他	3889	14771	26.3
神社本庁	31184	76030	41.0

※鶴岡秀徳「寺院消滅」(日経BP社。2015年。241頁)

離郷門信徒のつどい開催・参加者数推移表



※浄土真宗本願寺派提供

全国曹洞宗青年会の活動は皆さまの賛助費に支えられております。
この度もご協力いただき誠に有難うございました。

◆岩手県

- 7 永祥院 様
- 13 長善寺 様
- 14 正傳寺 様
- 17 清水寺 様
- 20 大泉院 様
- 67 永昌寺 様
- 81 円城寺 様
- 101 正法寺 様
- 102 光明寺 様
- 111 西泉寺 様
- 133 大林寺 様
- 245 常楽寺 様

◆青森県

- 15 梅林寺 様
- 100 澄月寺 様
- 105 東昌寺 様
- 189 乗照寺 様

◆山形県1

- 14 耕雲寺 様
- 168 高松院 様
- 194 龍護寺 様

◆山形県2

- 322 洞松寺 様

◆山形県3

- 433 祐性院 様
- 468 宗傳寺 様
- 534 東福寺 様
- 547 大洞寺 様
- 722 永蓮寺 様

◆秋田県

- 17 補陀寺 様
- 165 能持院 様
- 184 護昌寺 様
- 207 大川寺 様
- 209 満友寺 様
- 235 龍巖寺 様
- 265 倫勝寺 様

◆北海道1

- 39 正覚院 様
- 96 観音寺 様
- 99 全久寺 様
- 374 興禪寺 様

◆北海道2

- 252 清水寺 様

◆北海道3

- 218 報恩寺 様

インターネット
受付分

- ◆静岡県1
165 光明寺 様

- ◆愛媛県
164 城慶寺 様

- ◆佐賀県
130 廣雲寺 様

ボ ラ ン テ ィ ア 基 金 感 謝 録

2020年7月1日～2020年9月30日取扱い分

- 東京都 曹洞宗宗務庁
- 埼玉県 東昌寺
- 愛知県 曹洞宗愛知県第三宗務所青年会
薬師寺
- 岡山県 岡山県曹洞宗青年会
円通寺
- 鳥取県 曹洞宗鳥取県青年会

- 島根県 いずも曹洞宗青年会
- 福井県 福井県曹洞宗青年会
- 東北 東北地区曹洞宗青年会連絡協議会
- 青森県 大乘寺
- 山形県 曹洞宗山形県第三宗務所青年会
- 秋田県 東泉寺
護昌寺

戦略に合ったノウハウを提供し、
企画～提案をサポート致します。

**様々なご要望に
お応えします!**

記念誌・カタログ・ポスター・パンフレット・チラシ・
DM・名刺・封筒等、様々な印刷を承ります。

ホームページを企画～
提案・制作いたします。

お客様に代わり封筒などに、
封入・セット作業を致します。

発送される際の宛名ラベルの
出力～発送作業も承ります。

SBP 創文社印刷株式会社
〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄二丁目7番16号
TEL.054-265-0870
FAX.054-265-2180 <http://www.sobunsya.co.jp>

両大本山御用達
梅花流法具販売指定店

法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品

梅金商店
株式会社

(全国曹洞宗法衣同業会会員)

〈本 社〉〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39番33号
(大須交差点東北側)
TEL(052)241-0901(代表) FAX(052)241-1904

安心と信頼と感動を

創寿苑

本社／宮城県仙台市泉区福岡字北泉20-1
0120-605-846
FreeDial

仙台泉店 仙台南店
名古屋支店 横浜営業所

シワにならない麻のような風合い

スーパールック

しなやかな絹のような風合い

シルキーワン

井筒屋
0120-122-894
<https://www.idutsuya.co.jp>

賛助費浄納御芳名簿

2020年7月1日～2020年9月30日取扱い分

◆東京都

3 俊朝寺 様
18 大泉寺 様
70 永昌寺 様
115 高安寺 様
173 江岸寺 様
240 東雲寺 様
309 天寧寺 様
374 善福寺 様

◆神奈川県2

18 寶泉寺 様
21 東照寺 様
83 正翁寺 様
90 慈眼寺 様

◆埼玉県1

19 宝積寺 様
92 浄山寺 様
436 陽雲寺 様

◆埼玉県2

331 曹源寺 様
368 東昌寺 様

◆群馬県

43 高常寺 様
194 善宗寺 様
217 正泉寺 様
276 陽雲寺 様
311 泉通寺 様

◆栃木県

23 松楽寺 様
67 海潮寺 様
93 乾徳寺 様

◆茨城県

13 龍泉院 様
57 常安寺 様
182 龍心寺 様
145 性山寺 様

◆千葉県

2 宗胤寺 様
7 満蔵寺 様
22 廣壽寺 様
25 萬福寺 様
29 慶林寺 様
198 太高寺 様
272 永泉寺 様
357 永福寺 様

◆山梨県

280 円通院 様
339 南明寺 様
392 慈照寺 様

◆静岡県1

26 宝珠院 様
34 洞慶院 様
202 先照寺 様

◆静岡県2

332 龍雲寺 様
362 福泉寺 様

◆静岡県3

585 成因寺 様
608 養勝寺 様
678 宗心寺 様
767 大雲院 様

◆愛知県1

7 全香寺 様
135 光明寺 様
139 祇園寺 様
261 薬師寺 様
313 長松寺 様
342 常楽寺 様
605 天徳寺 様
606 向陽寺 様
625 宝積寺 様
635 永澤寺 様
1119 松月寺 様

◆愛知県2

723 西漸寺 様

◆愛知県3

411 福田寺 様
557 楞嚴寺 様

◆岐阜県

75 地藏院 様
240 林陽寺 様

◆三重県1

37 四天王寺 様
166 陽光寺 様
269 大蓮寺 様

◆三重県2

408 東正寺 様

◆滋賀県

143 永壽院 様
197 寶光寺 様

◆京都府

6 天寧寺 様
11 洞泉寺 様
26 岩屋寺 様
79 神應寺 様
236 善光寺 様
367 福昌寺 様
389 萬福寺 様

◆大阪府

5 臨南寺 様
26 天徳寺 様

◆奈良県

9 観音寺 様

◆兵庫県1

287 向榮寺 様
340 永春寺 様
399 醫王寺 様

◆兵庫県2

103 東林寺 様
221 永源寺 様

◆岡山県

29 大通寺 様
131 済渡寺 様

◆広島県

6 禅昌寺 様
46 双照院 様
48 真観寺 様
120 寶泉寺 様
135 鳳林寺 様
161 浄久寺 様

◆山口県

25 弘濟寺 様
56 宗圓寺 様

◆鳥取県

1 興雲寺 様
54 東昌寺 様

◆島根県1

209 圓通寺 様

◆島根県2

1 松源寺 様
63 龍覚寺 様
70 完全寺 様
144 福知寺 様
161 太林寺 様
187 養善寺 様
195 總光寺 様

◆愛媛県

34 本光寺 様
146 興雲寺 様

◆福岡県

5 妙徳寺 様
25 南林寺 様
28 桂木寺 様
107 天徳寺 様

◆大分県

134 長安寺 様

◆長崎県1

26 鏡圓寺 様
42 西方寺 様
47 薬王寺 様

◆佐賀県

138 弥福寺 様

◆熊本県2

122 國照寺 様

◆長野県1

71 苔翁寺 様
86 圓福寺 様
105 福泉寺 様
229 源信寺 様

◆長野県2

508 眞浄寺 様
512 浄蓮寺 様
603 長性院 様

◆福井県

27 龍澤寺 様
197 洞源寺 様
232 長泉寺 様

◆石川県

17 長久寺 様

◆新潟県1

373 常福寺 様
389 雲居寺 様
393 曹源寺 様
496 長樂寺 様
502 東光寺 様

◆新潟県3

562 桐盛院 様

◆新潟県4

82 養廣寺 様
246 福源寺 様

◆福島県

2 長楽寺 様
41 石雲寺 様
87 東光寺 様
90 明光寺 様
101 成林寺 様
110 龍徳寺 様
121 長泉寺 様
156 大龍寺 様
226 常隆寺 様
275 性源寺 様
304 梵音寺 様
401 常楽寺 様
461 正法寺 様
471 大泉寺 様

◆宮城県

55 實相寺 様
69 見松寺 様
76 清涼寺 様
102 吉祥寺 様
114 東禪寺 様
141 自照院 様
202 皆傳寺 様
212 祥雲寺 様
310 洞福寺 様
352 安永寺 様
420 玖光院 様

誰の為に祈るのか？

何の為に信仰か？



〔空族〕 富田克也 監督作品



典座
TENZO

『典座-TENZO』2019年／62分／DCP／ビスタ／5.1ch © 空族 製作：全国曹洞宗青年会 DVD制作販売：株式会社ZEN

カンヌ国際映画祭
SEMMAINE DE LA CRITIQUE
CANNES 2019
批評家週間 特別招待

DVD販売開始!!

カンヌが沸いた渾身の作品を是非ご覧ください

購入方法

- ・同封の全曹青頒布物注文票にて FAX 送信
- ・全曹青オンラインショップ shop.sousei.gr.jp



価格

大口割引：DVD計10枚以上のご注文は1割引（FAXからの注文限定）
 DVD1枚（本編・特典映像付き） **3,850円**
 DVD1枚＋映画パンフレット（通常700円）セット **4,400円**

DVD購入のお問合せ
 全曹青映画事業実行委員会
 090-4010-0275
tomo.ko.un.78@gmail.com



本編未収録の特典映像付き

「三心」など高祖道元禪師が遺された典座教訓の本質を青山俊董老師が肅々と語る秘蔵映像（約15分）

枚数により発送方法が異なります。代引きにてお支払いください。メール便で発送可能な場合は郵便振替票を同梱します。送料と荷造り手数料、代引手数料をご負担下さい。手数料詳細は同梱の「頒布物ご注文用紙」をご参照下さい。

